

東北復興支援として13年で累計約400万円を国産カシミアニットの売上から寄付

英国名門紳士服店での取り扱いに続きカシミア製の葉がパリのギャラリーで販売好調

株式会社ユーティーオー（以下、UTO）の片山と申します。岩手県北上市の自社工場で「高級カシミアニット」をつくるUTO（本社：東京都港区、代表取締役：宇土寿和）は、2011年より東北の復興支援を目的にしたハンドメイドのカシミアニット製の葉『天使のしおり』を販売し、海を渡ってフランスのパリでも支援の輪が広がる中、13年間寄付を続けています。これまで寄付していた北上市とご相談した結果、今年度より岩手県への寄付に変更し、『いわての学び希望基金』などに活用していただくことになり、3月6日（水）に岩手県庁にて贈呈式を行います。より大きな行政単位との連動により、復興支援を風化させず、これからも持続可能な方法で活動を続けてまいります。また、世界でも珍しいオーダーメイド可能なカシミアニットが、英国のハンツマンや豪州のJ.H.カトラー等海外の高級紳士服店で日本のニットブランドとして初めて販売されることが決定する中、日本の「ものづくり」を世界に発信していく使命に注力してまいります。



一つ一つ色の組み合わせを考えて職人が手作りしているため生産コストは500円ほど



定価300円（税込）うち100円は支援金に



復興支援品『天使のしおり』について

「カシミアニットの極上の肌触りや色の楽しさをお伝えし、工場の地元東北の方々の力になるものを」という想いで開発し、自社販売のほか、国内の書店や美術館に加えて、今冬からフランスの有名ギャラリー兼書店でも販売がスタート。パリの人々にカシミアの風合いを楽しんでいただくことで海を渡って支援の輪が広がっています。制作の様子は東京本社でもご取材可能です。



パリの流行発信地マレ地区の「イヴォン・ランバート」では即売切れとなる程の人気商品に



これまでのUTOの東北復興への想い

当社は、2011年10月にニットの職人を求めて山梨から岩手に工場を移転しました。当時、東日本大震災にみまわれた半年後で混乱をきたす中、被災地・岩手の企業市民になったからにはできることはないかと考え、東北の寒い冬を越すための灯油代の足しにでもしてもらいたいと、世界一柔らかな「天使の葉」を作って販売し一枚売れる度に100円を北上市市役所を通して寄付することにしました。本業であるカシミアプルオーバーについても1枚売れるごとに100円を寄付し、この12年間で累計の寄付金は約400万円を超えています。当初より復興には長期にわたる支援が必要であると考え、震災から13年経った今後も継続していきたいと考えています。

～ 東北復興支援品カシミアニット製『天使のしおり』および 復興支援金贈呈式 概要 ～

①天使のしおり海外販売先：フランス・パリ・マレ地区『イヴォン・ランバート』（カルヴェール通り14番地）

②寄付贈呈式

場所：岩手県庁 知事室 内容：ご挨拶・目録贈呈・写真撮影・懇談

出席者：岩手県代表者 および 株式会社ユーティーオー 岩手工場長 玉澤宏美

【お問合わせ先】

株式会社ユーティーオー 広報担当・片山（かたやま）

〒107-0062 東京都港区南青山5-4-35 たつむら青山607

Mail：katayama@uto-knit.com Tel：090-1999-2878 HP：https://uto-knit.com/

